

平成25年度重症心身障害児者の 地域生活モデル事業報告書

厚生労働省障害保健福祉部

平成 26 年 5 月

はじめに

本報告書は、平成25年度の重症心身障害児者地域生活モデル事業の採択団体が各地域で実施した事業の結果報告等をまとめたものです。平成25年度も昨年度に引き続き、

- ・重症心身障害児者に関わっている関係者による協議の場を通じた、福祉、医療、教育等関係分野の連携
- ・人材養成の手法として、職員派遣や相互交換研修や出前研修の現地研修の取り組み
- ・実態調査による重症心身障害児者が利用できる既存施設の把握と再資源化への働き
- ・中山間地域における支援の体制として、ICTシステムの利用や、アウトリーチ型支援

等が行われました。

特にコーディネートする者に医療関係者を配置することについては、平成24年度では相談支援専門員と看護師をペアで対応した例もみられ、平成25年度では相談支援専門員に看護師を充てることで、福祉と医療にそれぞれ知見のある者を登用することで両者の連携に効果がみられています。このように、平成24年度で成果がみられた取り組みを、平成25年度に他の地域で実施しても効果が見られました。

今年度は新たにケアホームにおける重症心身障害児者の生活支援の実践等が行われました。特に今回は、モデル事業の取り組みを、より多くの地域の在宅重症心身障害児者支援に参考にしてもらいたいという思いより、それぞれの団体の取り組みを、参考にしやすいように整理してあります。

最後に、有識者の検討会の結論として、地域生活を支援するためのコーディネート機能とコーディネートする者の在り方、及び重症心身障害児者ケアマネジメントを機能させるための、新たな重症児者支援センターの設置とそれを担う人材である重症児者コーディネーターの育成の必要性について提起されています。

本モデル事業の取り組みによって、家庭で暮らす多くの重症心身障害児者のための支援に役立てていただければと思います。

目次

はじめに.....	1
目次.....	2
1. モデル事業の概要.....	3
1) 趣旨	
2) モデル事業の目的	
3) 受託団体の概要	
2. 実施団体報告	
報告1「重症心身障害児者の地域生活支援を過疎遠隔地へ拡げる方策 ー北海道北部の一地方都市、名寄市を対象とした地域支援体制モデルの 構築」(北海道療育園).....	5
報告2「重症心身障害児者の在宅支援を支えるための多職種連携の構築 ー看護師コーディネーターの導入とケアホームの成果と課題ー」 (びわこ学園障害者支援センター).....	41
報告3「NICU(新生児集中治療室)等の後方支援システムの構築を目指して」 (大阪発達総合療育センターフェニックス).....	65
報告4「広島市における重症心身障害児・者の実態調査と在宅支援について」 (重症児・者福祉医療施設鈴が峰).....	97
報告5「中山間地域における重症心身障害児者の在宅支援」 (南愛媛療育センター).....	159
3. 考察ーモデル事業により行われた取り組みからー.....	193
4. 今後の方向性.....	198
別添資料.....	199
○重症心身障害児者の地域生活支援モデル事業検討委員会委員名簿	
○平成24年度重症心身障害児者の地域生活モデル事業結果報告書(概要)	

1. モデル事業の概要

1) 趣旨

重症心身障害児者に対する施策については、NICUから退院したケース等濃厚な医療的対応を必要とされる方に対する在宅支援の提供基盤の整備や医療機関との連携による後方支援の確立、介護を行っている家族の高齢化などに伴う家族に対する支援の在り方等、様々な課題がある。平成24年4月より改正児童福祉法の施行により、重症心身障害児(者)通園事業が法定化され、児童発達支援等としてサービスが整備されていくことが期待されている。また、入所施設については、児者一体的な支援が引き続き可能となるよう措置が講じられた。今後は、地域生活の支援や施設入所者に対する日中活動の支援を充実することが求められており、施設や病院等においては、通所支援やショートステイの実施・拡充、支援を行う人材の育成など、重症心身障害児者に対する様々な支援の地域における拠点としての役割を担っていくことが求められている。

重症心身障害児者の地域生活モデル事業は、地域における支援の中核となる施設等に医療、福祉、教育等の各分野をコーディネートする者を配置し、関係する分野間の協働による様々な形態の事業を実施することにより、課題の整理・共有化、事業の評価等を行い、重症心身障害児者に対する地域支援の全国的な普及を目指す。

2) モデル事業の目的

本事業は、重症心身障害児者及びその家族が地域で安心・安全に地域でいきいきと暮らせるよう、効果的なサービスの利用や医療、保健、福祉、教育等の関係施設・機関の連携の在り方等について、先進的な取組を行う団体等に対して助成を行い、あわせて地域住民に対する理解促進や障害福祉サービス事業所等に対する支援を行うことにより、重症心身障害児者に対する地域支援の向上を図ることを目的としている。

3) 受託団体の概要

施設名	法人名	所在地	特色
北海道療育園	社) 北海道療育園	北海道旭川市	<ul style="list-style-type: none"> ○広大な過疎遠隔地に居住する重症心身障害児者と家族を支援する組織連携とICT基盤の構築 ○短期入所事業拡大を目指した相互交換研修(地域基盤病院との職員の相互交換研修実施) ○ICTを用いた「顔のみえる」24時間支援体制の構築 ○重症心身障害児者が必要とする支援、及び地域の支援資源の調査・現状把握
びわこ学園障害者支援センター	社) びわこ学園	滋賀県野洲市	<ul style="list-style-type: none"> ○重症心身障害児者ケアマネジメントの実践のためのコーディネーターの役割 ○ケアホームにおける重症心身障害児者の生活支援の実践と課題の把握
大阪発達総合療育センターフェニックス	社) 愛徳福社会	大阪府大阪市	<ul style="list-style-type: none"> ○重症心身障害児者ショートステイ連絡協議会の開催 ○小児の在宅医療移行支援プログラムの作成と活用
重症児・者福祉医療施設鈴が峰	社) 三篠会	広島県広島市	<ul style="list-style-type: none"> ○医療的ケアと福祉サービスによるチームアプローチ ○相談支援事業所によるサービス等利用計画の活用
南愛媛療育センター	社) 旭川荘	愛媛県北宇和郡	<ul style="list-style-type: none"> ○地域サービスの掘り起こし ○定期巡回相談と24時間相談支援体制の整備